

令和2年度第2回 知多市地域公共交通会議 要旨

○日 時 令和2年7月29日(水) 午後2時15分～午後3時21分

○場 所 知多市役所 3階 協議会室

○出席委員 18名

- ・知多市 副市長 立川 泰造
- ・八幡コミュニティ 会長 平松 鋼一
- ・東部コミュニティ 会長 村瀬 正光
- ・岡田コミュニティ 会長 永井 英明
- ・南粕谷コミュニティ 会長 八島 忠
- ・知多市社会福祉協議会 会長 渡辺 正敏
- ・知多市観光協会 会長 酒井 清
- ・知多市商工会 青年部長 竹内 千豊
- ・名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科 教授 松本 幸正
- ・知多乗合株式会社 取締役社長 荻本 正久
- ・安全タクシー株式会社 代表取締役 森川 栄二
- ・愛知県タクシー協会 知多支部長 佐野 達郎
- ・愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事 盛林 克浩
- ・中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官 鈴木 隆史(代理:吉留 俊郎)
- ・愛知県都市整備局交通対策課 担当課長 澤木 徹(代理:石川 貴康)
- ・愛知県知多建設事務所 維持管理課長 横山 和彦(代理:北川 秀一)
- ・愛知県知多警察署 交通課長 西岡 基
- ・知多市 都市整備部長 鈴木 宏式

○欠席委員 2名

- ・旭東コミュニティ 会長 加藤 祐二
- ・公益社団法人愛知県バス協会 専務理事 小林 裕之

○傍聴者 10名

○事務局 4名

- ・市民生活部長 細川 賢弘
- ・市民協働課長 長谷川 一樹
- ・市民協働課 交通・防犯チーム長 加藤 正樹
- ・市民協働課 坂口 寛知

会議の経過及び発言の要旨

1 あいさつ

【会長】

本市は、9月1日に市制施行50周年を迎えるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なイベントを中止・延期した。交通事業者も大変な事態を迎えていると伺っている。市としても皆様と手を携えてこの難局を乗り越えていきたい。

本日は、今年度第2回の会議で、主な議題は、「あいあいバス北部循環コースの路線変更について」を予定している。

本市のより快適で利便性の高い公共交通の実現に向けて、活発なご協議をお願いしたい。

2 委員委嘱について

(新しい委員の委嘱)

3 副会長の指名について

地域公共交通会議設置要綱第3条第4項に基づき、会長が松本幸正委員を副会長に指名。

4 報告事項

(1) 市内バス路線の実績について

ア コミュニティ交通の実績について（資料1-1）

【事務局】

●資料1-1

◎コミュニティ交通利用者数について

・1 ページ上段、各コースの年度別利用者数の推移について

平成28年度の料金見直し以降、使用者数は増加傾向にある。令和元年度は、東部コースでは41,258人、南部コースは47,422人、北部コース15,631人で、前年度と比べ、全体で、6,089人の増加。

・1 ページ下段、東部コースの月別利用者数の推移について

令和元年10月に行った無料あいパスの拡充（75歳以上の市民を無料あいパスの対象としたこと）により利用者が増加したものと考えられる。令和元年度3月は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少している。

・2 ページ上段、南部コースの月別利用者数の推移について

昨年度は、東部コースと同様に無料あいパスの制度拡充により、例年より高い水準で推移した。また、3月は新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に利用者が減少している。

・2 ページ下段、北部コースの月別利用者数の推移について

他の2コースと比べて、利用者自体が少なく、令和元年10月以降の、無料あいパスの制度拡充後も利用者は伸び悩んだ。原因として、北部コース沿線上は、商業施設が少ないこと、利用者に知多翔洋高校生の通学が多く占め、他の路線より高齢者の占める割合が高くないことが考えられる。また、他の2コースと同様に、3月は新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に利用者数は減少している。

・3 ページ上段、3コース合計の年度別運行収入の推移について

令和元年度の運行収入は596万10円で、前年度比で約100万円減少した。減少の理由として、10月に行った無料あいパス拡充による無料利用者の増加、新型コロナウイルス感染症の影響による3月の利用者数の減少が考えられる。

・3 ページ下段、令和元年度及び2年度の4～6月のあいあいバスの全体の利用者数

の推移について

新型コロナウイルス感染症の影響により、4・5月利用者数は、昨年度と比べ、約40%減少している。緊急事態宣言解除以降、6月の利用者数については回復傾向にある。

- ・4ページ、無料あいパスの発行実績について

令和元年10月の制度の拡充以降、累計発行実績は、令和元年度末でのべ2,493名、そのうち運転免許自主返納者は640名であった。

◎乗降調査の結果について（12月実施）

調査方法は職員がバスに乗り込み、バス利用者の乗降バス停を調査した。無料あいパスの利用状況も併せて調査した。

- ・5ページ、東部コースの乗降調査結果について

八幡台中央から朝倉駅前方面の1便・2便は、巽が丘駅西、看護専門学校前、寺本駅東、朝倉駅前下車する方が多い。電車に乗り継ぐ通勤者や、看護専門学校や周辺の障がい者活動センターなどへの利用者が多いと想定される。日中の便は、朝倉駅前方面行き、八幡台中央方面行きともにイトーヨーカドー前での乗降者数多い。無料あいパス使用者の数は、日中便での使用者数が多く、買い物でバスを利用する高齢者が多いことが想定される。

- ・6ページ、南部コースの乗降調査の結果について

南部コースは、発着点である新舞子駅前と朝倉駅前、イトーヨーカドー前の利用者が多い。無料あいパスの使用者数は東部コースと同様に日中便の使用が多い。

- ・7ページ、北部コースの乗降調査の結果について知多翔洋高校生の利用が多く、1便は登校、5便は下校時に利用されている。

<主な質疑、意見等>

【副会長】

北部コースは利用者数でこれまで苦戦が続いており、南部・東部コースは調子がよかった。4月の路線再編により、利用者数の増加が期待されたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が3月から減少し、4・5月は非常に少なく、6月はやや

盛り返したという結果の報告であった。あいあいバスの6月の利用者数は、前年度比でマイナス5.4パーセントであったが、他の自治体では6月も利用者がかなり少なく、2割、3割減であると聞いている。そういう意味では6月の状況から北部循環コースとなったことにより、利用者が増えている可能性がある。

イ 路線バスの実績について（資料1-2）

【事務局】

市が路線を維持するため運行補助を行っている、知多乗合株が運行する岡田線、佐布里線、日長団地線の路線の実績について報告するもの。

- ・ 1 ページ上段、年度別利用者数の各路線の推移について

平成28年10月に行ったあいあいバスの料金値下げによる、路線バスの利用者数減少などは無く、各路線ともに料金値下げ前と比べ、大きな影響は無かった。

- ・ 1 ページ下段、各路線の年度別運行補助金の推移について

令和元年度は前年度比1,110,000円増額の16,281,000円。

- ・ 2 ページ、各路線の年度別収支率の推移について

日長団地線の収支率が低い傾向にある。

<主な質疑、意見等>

【副会長】

路線バスについて補足説明等があれば伺いたい。

【委員】

路線バスの利用者については、年々減少傾向にある。本年4月以降の状況に関しては、4月・5月は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、収入が前年度の30パーセントの路線もある。ただ6月は若干回復傾向にあり、全体的にみると前年度の80パーセントほどに収まりつつある。

【副会長】

路線バス事業で行っている新型コロナウイルス感染症の感染防止対策はあるか。

【委員】

感染防止対策として、雨天時以外は、なるべく窓を開け、換気をよくしたり、乗務員に近い最前列の席を使用不可にしている。また、乗務員のマスク着用の徹底と、利用するお客様へのマスクの着用をお願いしている。

【副会長】

コミュニティバスの感染防止対策はあるか。

【事務局】

あいあいバスも知多乗合を通じて、車内の換気と車内への手指消毒用消毒液の設置等の対策をお願いしている。

5 協議事項

(1) コミュニティ交通（あいあいバス）の北部循環コースの変更について（資料2）

【事務局】

今回の変更は、市東部の名鉄巽が丘駅の南、阿久比町との境に、スーパーマーケット「カネスエ阿久比店」が開店するにあたり、乗り入れるもの。知多市の東部地区は、地区内にスーパーマーケットが無く、地区住民からの「買い物が不便である」との声もあり、そのような住民ニーズに応えるべく、あいあいバス北部循環コースを乗り入れるよう計画した。

当該計画については、会議に先立ち、地域公共交通会議委員には変更案について意見照会を実施した。バス利用者に対しては、今回のダイヤの変更が普段のバス利用に影響するかどうか確認するため、バス車内でのアンケート調査を実施した。

●資料2-1 コミュニティ交通（あいあいバス）の北部循環コースの変更案に対する事前調査について

1 地域公共交通会議委員への意見照会について

委員には文書にて変更案を示し、6月15日から6月26日の期間、意見を募った。委員からの意見とその事務局の回答については2ページのとおり。

2 あいあいバス利用者アンケート調査について

6月15日から6月28日までの2週間、バス車内にアンケート用紙と回収箱を配置し、回答用紙を回収箱に投函する方式で実施。また、北部循環コース系統1、系統2のバスにそれぞれ1日ずつ職員が乗り込み、利用者にアンケートを手渡しした。

資料2-1の3枚目と4枚目が実際に使用したアンケート用紙。

◎回収結果について

回答数108通。影響が「ある」と回答した方が11人、「無い」と回答した方が78人。影響があると回答した方の主な理由として、他のバスや電車との乗り継ぎが不便になる方が5人、通院が不便になるという方が3人、その他の意見が3人であった。

意見に対して影響が及ばないようにダイヤの調整を試みたが、スーパーマーケットでの買い物時間の確保、道路狭隘部でのバスのすれ違わないようにするための時間の調整、バスの運転手の休憩時間の確保等を考慮すると、すべての意見に沿うよう調整することは難しく、多くの利用者のニーズに応えるよう変更案のとおりとした。

●資料2-2 あいあいバス北部循環コース（系統1）・（系統2）の変更案

カネスエ阿久比店に乗り入れることにより、路線が280メートル延長するとともに、店舗敷地内にカネスエ阿久比店停留所を新設する。ダイヤの変更も行う。路線変更の日は、令和2年9月24日木曜日を予定。

1ページ、「1 変更の概要について」、変更する路線は、あいあいバスの北部循環コース系統1と系統2。

運行ルートについては、系統1については2ページのとおり、系統2については3

ページのルートのとおり運行する。

新しい停留所の設置場所等については、4ページの付近図のとおり。5ページはカネスエ阿久比店停留所の現況写真、写真撮影時は工事中のため未舗装であるが、開店時は舗装された状態となる。

系統キロについては、路線延長により、循環コース1周がそれぞれ約500m延長する。系統1が27.7キロメートルから28.2キロメートルに、系統2が27.1キロメートルから27.6キロメートルとなる。

所要時間については、路線の延長に伴い、系統1は1便あたり80分が84分に、系統2は1便あたり76分が80分に延長する。

ダイヤについては、主な検討事項として次の3点を考慮して作成した。1点目、新しい路線に要する走行時間については、現地の試走により決定。2点目、商業施設への滞在時間の確保、東部まちづくりセンター停留所から西翼が丘南停留所の道路の狭隘部でバス車両同士のすれ違いが無いこと、乗務員の休憩時間を考慮してダイヤを調整。3点目、系統1の第1便については、店舗の開店時間前であることと、朝の通勤時間帯の渋滞を懸念し、カネスエ阿久比店停留所には運行しないこととした。これらの事項を踏まえて作成したダイヤの案は6ページのとおり。黄色に着色した便がダイヤを調整した便で、系統1については、3便を30分、4便を10分、5便を10分遅らせ、系統2については、2便を10分、5便を5分遅らせている。

7ページは、北部循環コースを利用した場合のイトーヨーカドーとカネスエ阿久比店の店舗でのバスの発着時刻と店舗での買い物時間を表したものの。今回の路線変更によりイトーヨーカドーの買い物時間が短くなるケースもあるが、カネスエ阿久比店への買い物利用の選択肢が増えるなど、買物に利用しやすい時間を確保するようにダイヤを調整している。

1ページの左下の欄の事前確認事項には、今回の変更にあたり、会議に先立ち、関係各機関に事前確認し、いずれも支障なしとの見解を得た。

その右の欄、変更に向けたスケジュールについては、8月にバス車内での広報、バスマップの作成、愛知運輸支局へ道路運送法上の申請を行い9月には広報9月号への記事の掲載、バスマップの同時配布により市民に対して広報を予定。

<主な質疑、意見等>

【委員】

阿久比町のバスのカネスエ阿久比店への乗り入れについて、具体的なダイヤなど、乗り入れの時期等を把握しているか。バス停も同じ位置だと思うが、双方の運行に支障の無いようお願いしたい。

【事務局】

阿久比町からは、無料バス「アグピー号」を乗り入れることと、10月頃にダイヤの改正を予定していることを伺っている。今後お互いの運行に支障がないよう調整していきたい。

【委員】

アンケート調査の結果について、11名が、影響があると回答し、そのうち他のバスや電車との乗り継ぎが不便であるという人が5名いるが、具体的に教えていただきたい。

【事務局】

具体的には、系統1の4便でつつじが丘団地南から朝倉駅に行きたいという方が、ダイヤが変わると特急に乗れないという意見があった。この方については、今回の変更によりあいあいバスでは特急に乗れなくなるが、つつじが丘を運行している路線バスで対応可能であるため、あいあいバスで対応不可能なところはそちらで対応していただきたいと考えている。他には、系統1の2便の利用者の方で、亥新田公会堂から巽が丘駅西に乗っているが、今回の変更で4分遅くなることで乗りたい特急に乗れないということであった。ダイヤを調整してこれまでどおり利用できないか試案したが、系統1の2便については、1便との時間間隔が短く、これを早くすると渋滞等でバスが遅れた際に2便の出発時刻が遅れるなどの影響が懸念され、時刻を前倒すことが困難であった。また、2便は、知多翔洋高校生の通学に使われているバスでもあり、電車との接続も考慮されたダイヤでもあることから、ダイヤを調整することが難しいという結論に至った。

【委員】

実際に変更してみないと分からないこともあると思われる。変更後も利用者の動向を注視し、把握する必要がある。また、変更日が9月24日ということで、10月1日などキリのいい日ではないので、混乱が無いよう利用者への周知徹底をお願いしたい。

【副会長】

今回の変更で、多くの方は買い物施設に直接乗り入れることが出来るので便利になることだと思われる。一方で少数の方ではあるが、今までの利用ができなくなってしまう。本来はすべての方にとって便利になることが望ましいが、限られた資源の中でやろうとすると、どうしても対応ができない部分が出てしまう。そのため、今回のように、全体として、大きな不具合が無いというところを目指さざるをえないのではないか。

一方で、今回の変更に向けたプロセスを見ると、変更についてのアンケート調査を実施している。これ故に、今回の変更で不便になるという事実が判明した訳であるが、利用者一人ひとりの意見を聞いている。それから資料2-2の7ページのとおり、買い物の時間の確保についても検討しており、非常にきめ細やかに修正の案が検討されている。もうこれ以上の案というのは、中々難しいと感じる。もしオープンして暫く様子を見て、大きな不具合があれば、公共交通会議で修正案について検討いただければと思う。

それでは、その他に特に意見は無いということなので、今回の変更案については、この会議として「承認した」ということでよろしいか。

【委員】

異議なし。

【副会長】

では、会議で合意を得たということで事務局は手続きを進めていただきたい。

なお、今回の変更は、株式会社カネスエの協力があって乗り入れが実現したと見受けられる。これは非常に有難いことだと思っている。この場を借りて感謝申し上げたい。一方で、新しい停留所においてバスを待つスペースがどのようになるかが心配である。

高齢者等には熱中症の心配があるので、日差しや風雨をしのげる上屋や休めるベンチがあれば良いと思う。私見ではあるが、事業者によるのか、知多市と阿久比町が協力し合うなどして、そのような施設を用意していただくとありがたい。

また、オープンの際は、渋滞のおそれがあるので、店舗の誘導員、警察等と協力してバスの遅延がないよう、よろしくをお願いしたい。

6 その他

●朝倉駅前仮設停留所の現況について（資料3）

【事務局】

朝倉駅前ロータリー工事に伴う仮設停留所の工事の進捗について報告。

資料は7月20日撮影の現場写真。仮設のシェルターの設置、バス・タクシーの停車位置を示す区画線が引かれている状態。今後は、9月1日の運行開始に向け、現在のバス停留所に案内看板を設置し、利用者への周知を行う。

【副会長】

そのほか、なにかあれば。

【委員】

知多バスから一点報告したい。路線バスは、コロナウイルスの影響で利用者が非常に少ない状態が続いているが、コロナの影響がなかった昨年の乗降者数調査の結果と、利用者への配慮、社内における乗務員不足への対応など、複合的な観点を考慮して、今年の10月1日に若干のダイヤ改正を予定している。詳細については今後詰めていきたいので、10月1日に改正を予定しているということだけ、承知いただきたい。

【副会長】

この先公共交通全体がどうなるか非常に先行き不透明な状況であるが、一方では運転手不足の問題もある。本日の会議での路線バスの実績報告では、一部の路線で利用者が

増えていたが、減っている路線もあるとのことだった。現時点でどのような変更か詳細がわからないが、見直しがあるとのこと。

その他、意見等無し。

会議終了。